

2019年度第8回価格審査会の開催について

2019年度第8回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、当財団の価格情報誌の発行前にその掲載価格の妥当性等について、外部の有識者によって審査を行うものです。

開催日時	2019年11月14日(木) 10:00 ~ 11:30	
場 所	一般財団法人建設物価調査会 会議室	
委 員	柳 泰彦	株式会社日本設計 コスト設計部長
	江川 浩	東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長
	関口 司	東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 次長
当 会	共通資材調査部	部長：大谷 忠広、次長：川野辺 豊、課長：小林 法雅
	建築調査部	部長：足利 全教、次長：渡辺 弘一
	監査審査室	室長：後藤 裕
	調査統括部(事務局)	部長：神田 尚昭、課長：菊池 信博

2019年度第7回価格審査会議事録(案) 確認

2019年度第8回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明	
1.	「建設物価」12月号、「Web 建設物価」12月号の価格動向
・	価格が上昇した資材は、ステンレス鋼（全都市）、伸銅品（全都市）、レディーミクストコンクリート（小樽、広尾、花巻、北上、一関A・B、奥州、西和賀、新庄、水戸、日立、鉾田、宇都宮、鹿沼、真岡、那須塩原、宇佐、霧島、さつま）、再生砕石類（米子）、自由勾配側溝（長崎、鹿児島）、タイロッド（全都市）、非鉄スクラップ【銅】（全都市）などであることを説明。
・	価格が下落した資材は、異形棒鋼（北海道除く各都市）、H形鋼（北海道、東北、中部を除く各都市）、鋼板（関東、北陸、近畿、沖縄の各都市、岡山、広島）、コンクリート型枠用合板（近畿、九州、沖縄の各都市）、アスファルト混合物（宮古島）、燃料油【軽油ローリー渡し】（東北、関東、近畿を除く各都市）鉄スクラップ【鉄】（北海道、東北、沖縄除く各都市）などであることを説明。
2.	注目資材
・	H形鋼【東京】
3.	比較資料
・	企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
審議 1	電線等の価格動向に台風 15 号の影響はあったのか。	市中在庫などもあり、特に影響は出なかった。
審議 2	長崎地区のコンクリート製品価格が上昇した理由はなにか。	メーカー各社が 4 月から共同販売を始め、運転手不足に伴う輸送コストの上昇を理由とした値上げを打ち出した。この値上げがここに来て浸透した。
審議 3	加賀地区の牛コンが北陸新幹線工事の影響を受けてひっ迫していると聞いているが、長崎地区や北海道地区でも新幹線工事の影響は出ているのか。	長崎地区や北海道地区において、新幹線工事向けの需要が資材の需給動向に大きな影響を与えているとは聞いていない。
審議 4	H形鋼について、商社や特約店は在庫を抱えているのか。また、抱え過ぎた在庫を処分したことが市況に影響を与えると聞いた例はあるのか。	商社や特約店などによる在庫販売が基本である。需要低迷で過剰在庫となった場合は、在庫を減らすために安売りすることもあり、こういったことが市況を下押し要因になる。
審議 5	価格維持のために鋼材メーカーが需給動向を見通して生産調整を行うことはあるのか。	鋼材メーカーは今後の需要動向などを考慮して生産計画を立てている。現在は、国内需要が低迷しているため、減産による生産調整を行っている。
審議 6	鋼材メーカーの減産中にも関わらず鋼材が下落した要因はなにか。	鋼材メーカーは需要に見合った生産を続けているが、原料である鉄スクラップ価格の下落から需要家による値下げ要求が強まったことなどが要因である
審議結果	「建設物価」12月号、「Web 建設物価」12月号の価格動向に問題はなかった。	

以 上